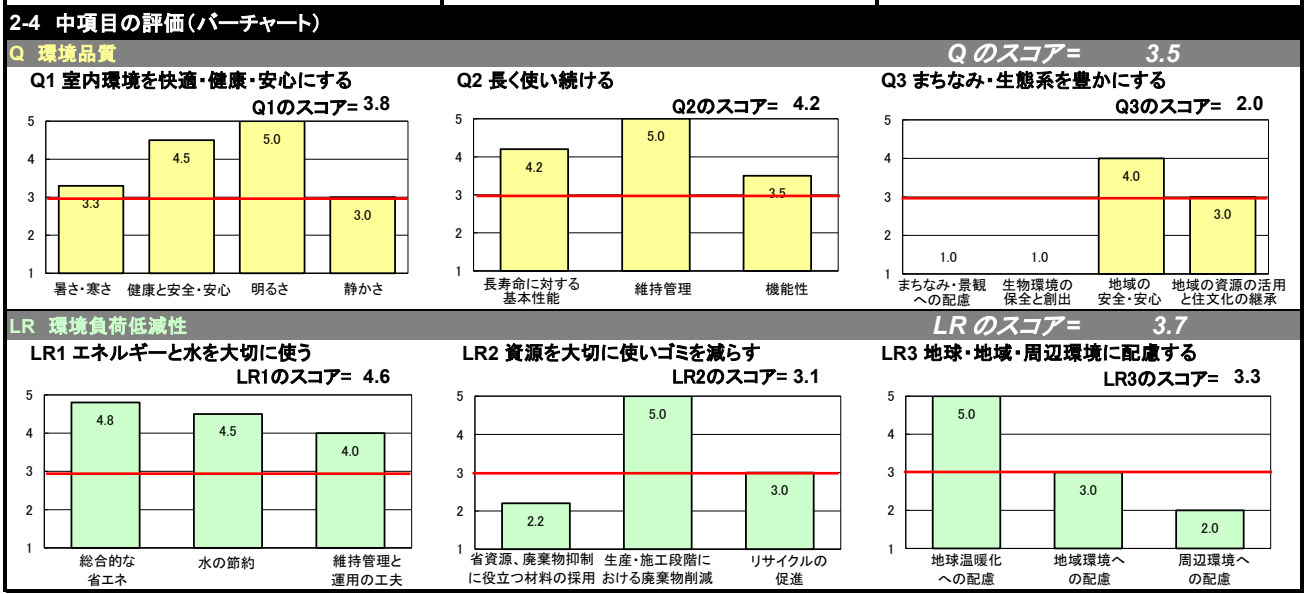
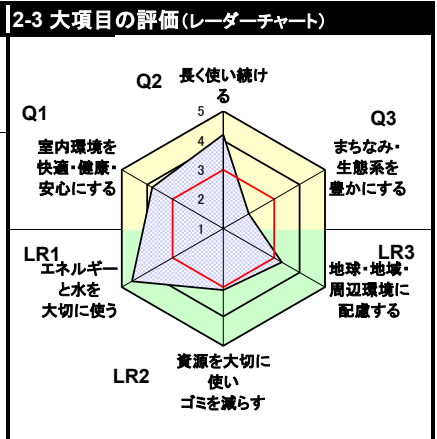
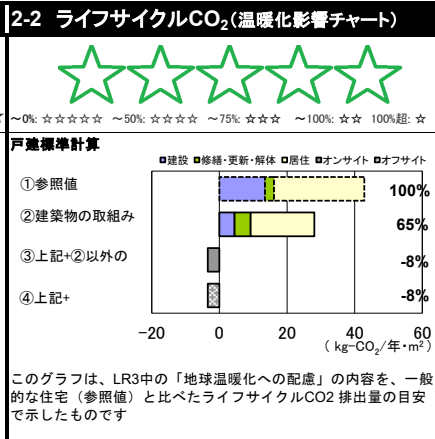
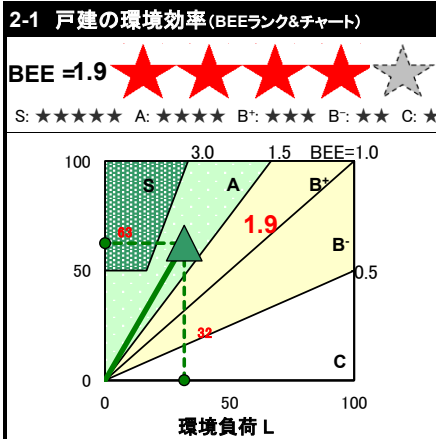




■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建 (新築) 2016年版

■バージョン: CASBEE横浜[戸建]2017年版 v.1.4

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	
竣工年月	2020年11月	竣工	持ち込み家電等	仮	
建設地	横浜市都筑区池辺町	確定	外構の仕様	確定	
用途地域	準工業地域				
省エネルギー地域区分	6地域	評価の実施日	2020年6月11日		
構造・構法	軽量鉄骨造	作成者	秋枝 緑美		
階数	地上2階	確認日	2020年7月9日		
敷地面積	323 m <sup>2</sup>	確認者	坂口 禎弘		
建築面積	110 m <sup>2</sup>				
延床面積	214 m <sup>2</sup>				
世帯人数	3人				



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
高断熱、高耐久性能を確保し、太陽光やHEMSの採用により省エネルギーにも配慮。長期優良住宅認定も取得し、将来にわたり安心、快適にお住まい頂ける住宅としております。	横浜市ZEH普及促進補助事業	
<p><b>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</b> 断熱材を基礎にも配置し等級4を満たしています。また、内装材にはホルムアルデヒドの発散量を抑え性能表示3としています。居室の配置にも配慮し明るさ、通風にも配慮した設計となっております。</p>	<p><b>Q2 長く使い続ける</b> 耐久性、耐震性を確保し、日本住宅性能表示基準の耐震等級3、劣化等級3、維持管理等級3を達成。独自のアフターメンテナンス、リフォームの専門部署と、情報を一元管理し、定期点検とメンテナンス、さらに家族構成の変化にも対応したリフォームの提案をさせて頂き、長期に渡り住み続けられる建物としています。</p>	<p><b>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</b> 建物の配置を前面道路より後退させ、エアコン室外機は道路側を避けることにより街並みの形成に配慮しております。また、空地を設けることにより隣地への配慮を考慮しました。</p>
<p><b>LR1 エネルギーと水を大切に使う</b> 高い断熱性能を確保し、太陽光による創エネ、HEMS導入によるエネルギー使用量の削減、水廻り水栓の節湯機能、食洗機を設置し省エネを実現。次世代ZEH+の基準に適合した建物としています。</p>	<p><b>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</b> 内容下地材や石膏ボード等を、工場独自のモジュールに合わせた寸法で作製することにより、現場でのごみを極力削減しています。</p>	<p><b>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</b> 高断熱、創エネルギーを積極的に採用することにより、ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量 レベル5を達成しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE<sub>H</sub>、Q<sub>H</sub>、LR<sub>H</sub>などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q<sub>1</sub>、Q<sub>2</sub>、LR<sub>1</sub>中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO<sub>2</sub>の算定条件等については、マニュアルおよび「CO<sub>2</sub>計算」シートを参照されたい



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

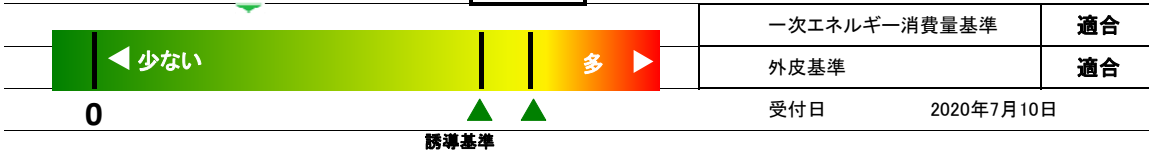
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **65** %削減



##### ■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEI=0.35

③太陽光発電の搭載 11kW、HEMSにより、電力の使用量を表示

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

##### ■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

##### ■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策等級3の取得

##### ■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **5**

##### ■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦転落・落下防止策がとられている。V2Hを導入している。

⑧耐震等級3、劣化等級3の取得

⑨防災性、防犯性に配慮した計画としている。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

##### ■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

##### 太陽光発電などの導入



太陽光利用

##### エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

##### 環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄熱設備・蓄電池

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 2-045



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.5</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>3.8</b>
<b>1</b> 暑さ・寒さ		3.3	0.50	3.3
1.1 基本性能		4.2	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心	1.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		2.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		1.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		3.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		3.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		3.0	1.00	-
<b>2</b> 健康と安全・安心		4.5	0.30	4.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	5.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	5.0	0.25	-
<b>3</b> 明るさ		5.0	0.10	5.0
3.1 屋光の利用		5.0	1.00	-
<b>4</b> 静かさ		3.0	0.10	3.0
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	4.2
<b>1</b> 長寿命に対する基本性能		4.2	0.50	4.2
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		2.4	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		1.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
<b>2</b> 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
<b>3</b> 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.0
<b>1</b> まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	1.0	0.30	1.0
<b>2</b> 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
<b>3</b> 地域の安全・安心	防災	4.0	0.20	4.0
<b>4</b> 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	3.7
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.6
<b>1</b> 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
<b>2</b> 水の節約		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
<b>3</b> 維持管理と運用の工夫		4.0	0.10	4.0
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	5.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.1
<b>1</b> 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	-	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	1.00	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
<b>2</b> 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
<b>3</b> リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.3
<b>1</b> 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
<b>2</b> 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		4.0	0.50	-
<b>3</b> 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-